

第4章 基本目標における具体的な内容

基本目標1 特色を活かしたしごとができる朝倉

数値 目標	評価指標	基準値	目標値
	総生産額	3,132 億 4,800 万円 (H24)	3,200 億円 (H31)
	事業所従業者数	11,650 人 (H26)	12,000 人 (H31)

総生産額：県民経済・市町村民経済計算報告書 H27 年 3 月版（H24 年度分）

事業所従業者数：朝倉市の労働概況 H26 年度・市内の従業員数 20 名以上の事業所が調査対象

朝倉市は豊かな自然環境のもと、古来より農業を主要な産業として栄えてきた地域であり、地産地消と福岡都市圏への供給の両面でさらに成長する可能性を秘めています。

さらに秋月、三連水車、原鶴温泉などの豊富な観光資源のほか、バサロや三連水車の里あさくらなどの農産物販売所は多くの来訪者を集め、都市との交流拠点の役割を果たしています。

一方、高速道路の3つのインターチェンジをはじめとする交通アクセスの利便性は、今後の国道改修計画によりさらなる向上が見込まれ、こうした条件を活かし、企業誘致に努め経済基盤の強化が期待できます。

朝倉市が持つこれらの特長を活かし、産業の振興を図ることで、しごとに満足できるまちを目指します。

（1）雇用の創出・地元就職

数値 目標	評価指標	基準値	目標値
	昼夜間人口比率	105.2 (H22)	105 以上 (H31)
	有効求人倍率	0.96 (H26)	1 以上 (各年度)

昼夜人口比率：国勢調査（H22 年）

有効求人倍率：福岡労働局職業安定業務年報（朝倉）H26 年度

①若者の地元就職支援

- ・地元高校生などへの就職応援会を実施し、若者の地元就職を支援します。

②地域産業・企業の地方拠点化

- ・誘致企業などで構成する地域産業連絡協議会の設置を検討します。

③女性の就業支援

- ・福岡県子育て女性就職支援センターと連携し、就業相談等の支援を行います。

④企業誘致の推進

- ・産業政策マネージャーを継続して設置するなど積極的に企業誘致を進めます。

⑤新たな地域産業の創出

- ・起業・創業や異業種参入の支援を行います。

(2) 農林業、6次産業化・ブランド推進

数値 目標	評価指標	基準値	目標値
	新規就農者数	8人 (H26)	10人 (各年度)

新規就農者数：朝倉普及指導センター集計農業振興課調べ（H25.6.1～H26.5.31）

①農林業の担い手の確保

- ・農林業の後継者や新規就農者をはじめ、個人を含めた経営体への支援を行い、担い手の確保に努めます。

②グリーンツーリズムの推進

- ・水稻、果樹、野菜をはじめとした恵まれた農村環境でのグリーンツーリズムの推進を行うことで、農業体験等を通じて都市や海外との共生・交流を図ります。

③農業インキュベートの推進

- ・朝倉農業高校跡地を活用して、農業関連の起業・創業、人材育成などを図る農業インキュベートを推進します。

④農林水産物のブランド化・特産品づくり

- ・伝統的特産の復興（櫛ロウ等）や新品種導入（柿「秋王」等）など幅広い視野でブランド化・特産化を進めていきます。

⑤6次産業化等の推進

- ・農産物等の6次産業化を進めることにより経営の充実と強化を行い、特産品づくりとあわせ、収益性向上＝儲かる農業を目指します。

(3) 観光振興

	評価指標	基準値	目標値
数値 目標	観光入込客数	2,998,600 人 (H25)	3,500,000 人 (H31)
	宿泊利用客数	275,200 人 (H25)	300,000 人 (H31)

観光入込客数：福岡県観光入込客推計調査（平成 25 年）

宿泊利用客数：福岡県観光入込客推計調査（平成 25 年）

① 3 つの IC を活かした観光・交流の推進

- ・甘木 IC：秋月千軒甘木千軒と称された「秋月・甘木」・弥生の空間「平塚川添遺跡」
- ・朝倉 IC：世界かんがい遺産「三連水車・山田堰」・斉明天皇宮「朝倉橘広庭」
- ・杷木 IC：博多の奥座敷「原鶴温泉」・道の駅原鶴「物産館バサロ」

② 海外からの旅行者受入

- ・Wi-Fi 設置など観光客の利便性向上を高め、国内旅行者だけでなくインバウンドを視野に入れた観光振興を推進します。

③ 旅行者の増加促進

- ・朝倉ファンになるきっかけづくりとして市内宿泊者や観光バスへの支援等を行い、リピート率の向上を図ります。

④ 観光PR等の専門化

- ・先行自治体に配置されている観光大臣や営業課など情報発信、観光PRの専門化を目指します。

⑤ DMO（注）の設置検討

- ・DMOの設置による観光振興を目指します。

（注）DMO：Destination Management/Marketing Organization の略。様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS 等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となっていく観光地域づくりの推進主体。

(4) 若い世代との連携

数値	評価指標	基準値	目標値
目標	若い世代との連携事業数	1 件 (H26)	1 件 (各年度)

①若い世代との連携

- ・高校、大学や研究機関等との連携強化により、若い世代の意見を取り入れた事業化を進めます。

②高校生の提言

- ・高校生が「高校生の提言事業」の検討をきっかけに、朝倉市を学び、地域の良さを知ってもらうことで、地域を愛する人材の育成を図ります。

(5) 高齢者も働きやすい環境づくり

数値	評価指標	基準値	目標値
目標	シルバー人材センター会員数	469 人 (H26)	500 人 (H31)

シルバー人材センター会員数：介護サービス課調べ

①高齢者の現役活躍

- ・シルバー人材センターへの支援など、高齢者の活躍できる環境を提供します。

②農業インキュベートの推進 《再掲》

- ・朝倉農業高校跡地を活用して、農業関連の起業・創業、人材育成などを図る農業インキュベートを推進します。

(6) 地場企業の育成・地域産業の強化

数値 目標	評価指標	基準値	目標値
	創業者創出数	— (H26)	5 件 (各年度)

創業者創出数：朝倉市創業支援事業計画（H27-31 年度）

①地域産業・企業の地方拠点化 <<再掲>>

- ・誘致企業などで構成する地域産業連絡協議会の設置を検討します。

②地域産業の活性化

- ・プレミアム付商品券等、消費喚起等を行うことにより、地域産業の活性化を図ります。

③地域産業の基盤強化

- ・金融機関との協定など地域産業の基盤強化のための金融政策の充実を図ります。

④新たな地域産業の創出 <<再掲>>

- ・起業・創業や異業種参入の支援を行います。